

【学校教育目標】



喜んで登校 満足して下校
～自ら学び 共に認め高め合い 自分の将来を切り開く子の育成～

【育てたい 資質・能力】

◇ 自ら学ぶ力 ◇ コミュニケーション力

【目指す子ども像】

か

かがやく子（心身共に健康で、明るく意欲的に活動する子）

み

みんなで力を合わせる子（同じ目標に向かって努力し、協力する子）

か

感謝と思いやりの心をもつ子（人や自然、ものへの感謝と思いやりの心をもつ子）

わ

わかった、できたを目指す子（めあてをもって、粘り強く学習する子）

【目指す学校像】

- ◇ わかる喜び、学ぶ楽しさを実感できる学校
- ◇ 自分が認められ、安心して生活できる学校
- ◇ 信頼できる、大好きな教職員や友だちがいる学校
- ◇ 家庭・地域と連携し子どもを育てる学校

【目指す教職員像】

- ◇ 一人一人の子どもを徹底的に大切にする教職員
- ◇ プロ意識と責任感をもって自ら行動する教職員
- ◇ 自己研鑽に励み、自らを高めようとする教職員
- ◇ 「チーム神川」の一員として協働する教職員

《徳（豊かな心）》

- 道徳教育の充実
 - ・互いの価値観等の違いを認め合い、
共に高まり合える児童の育成
- 発達支持的生徒指導の推進と
規範意識の醸成
 - ・児童理解と見逃しのない観察
 - ・心の通った指導
 - ・手遅れのない対応
 - ・学級・学年経営の充実
 - ・自己指導能力の育成
(生徒指導の実践上の4つの視点)
- 人権教育の充実
 - 児童会活動・たてわり活動の充実
 - ・認め合い高まり合う集団づくり
 - キャリア・パスポートの実践

《知（確かな学力）》

- 学びの質の向上
 - ・一人一人に、わかる喜びと学ぶ楽しさが
実感できる授業の構築
 - ・主体的・対話的で深い学びを重視した
授業の展開
 - ・めあて・見通しの確認・まとめ・
振り返りの徹底
 - ・教科担任制の積極的活用
 - ・I C T有効活用を通して個別最適な学びと
協働的な学びの充実
- 基礎的・基本的な知識・技能の習得と言語活
動の充実 読書活動の促進
- 日々の授業と家庭学習の連動
- 探求活動・体験活動の充実
 - ・総合的な学習の時間の充実
 - ・伝統文化・自然体験活動・宿泊学習等による
経験拡充
- グローバル化時代に対応する実践的英語力の
育成
- 支援を必要とする児童への指導体制の構築

《体（健やかな体）》

- 運動やスポーツの実践と
体力の向上
 - ・運動・スポーツの楽しさや喜びを
味わえる体育学習や部活動の工夫
と実践
- 望ましい生活習慣の確立
 - ・保健教育の充実
 - ・生活点検・保健だより等を通じ調
和のとれた生活習慣の習得
- 安全教育の充実
 - ・H A N A モデル
- 食に関する指導の推進
 - ・伝統文化の継承
 - ・アレルギー対応
- 飲酒・喫煙・薬物に関する指導

《家庭・地域との連携》

- 保護者との信頼関係の構築
- 学校運営協議会の推進
- コミュニティ・ティーチャー（地域人材）の協力と発掘
- 学校評価
- 学校だより・ホームページ等による情報発信

《校種間連携の推進》

- 幼保小の架け橋プログラムの推進
 - ・互いの授業・保育の公開、子ども同士の交流
- 神川中学校ブロック連携の推進
 - ・合同研修・学力向上・部活動体験・一斉挨拶運動